

## 令和2年12月定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和2年12月22日(火) 開 会 午前 9時30分  
閉 会 午前 11時00分

2 会 場 茅野市役所 705 会議室

3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢島喜久雄  
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子  
教育委員 勅使川原 はすみ

出席者	こども部長	有賀 淳一	生涯学習部長	北沢 政英
	こども課長	五味留美子	学校教育課長	五味 正
	生涯学習課長	藤森 隆	文化財課長	五味 健志
	スポーツ健康課長	中村 浩明	こども係長	宮下 孝
	幼児教育係長	北澤 賢一	教育総務係長	立石 淳二
	生涯学習係長	河西 茂廣	教育総務係主事	牛山 紘貴

4 傍聴者 4名

## 12 月 定例教育委員会次第

日時 令和 2 年 1 2 月 2 2 日（火）午前 9 時 3 0 分から

場所 市役所 7 0 5 会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

#### 第 1 号 教育長報告

#### 第 2 号 各課からの報告

- (1) 学校教育課
- (2) こども課
- (3) 幼児教育課
- (4) 生涯学習課
- (5) 公民館
- (6) 文化財課
- (7) スポーツ健康課

#### 第 3 号 教育委員会共催後援

- (1) 生涯学習課
- (2) スポーツ健康課

### 4 議 案

- (1) 茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 茅野市立小学校及び中学校開放施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について

### 5 検討事項

- (1) 総合教育会議の内容について

### 6 その他

- (1) ひとり親世帯臨時特別給付金「基本給付」の再支給について
- (2) 市議会 1 2 月定例会一般質問について
- (3) 市議会 1 2 月定例会議決結果について
- (4) 愛してるぜ茅野ミーティング 2 0 2 0 の報告
- (5) 令和 3 年度地区公民館長の選考について

(6) 昭和17年尖石遺跡出土土器の寄託について

(7) 令和2年度保育園卒園式及び令和3年度入園式の日程について

(8) 令和2年度小中学校卒業式及び令和3年度入学式の日程について

次回定例教育委員会日程について

	1月26日(火)	9時30分「8階大ホール」
(事務局会議	1月14日(木)	9時00分「602会議室」)

7 閉会

教育長

おはようございます。

ただいまから 12 月定例教育委員会を開催いたします。

最初に、前回の会議録の承認について、すでにご覧いただいたと思いますが、承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

後ほどご署名をお願いいたします。

報告事項に入ります。報告事項第 1 号の資料をご覧ください。

9 日、10 日、11 日に議会一般質問、予算決算委員会がありました。後ほど議会関係のことについては、説明をさせていただきます。

15 日に読み一む in ちのと市長との懇談会がありました。今まで公民協働で茅野市の読書図書館教育を行ってきましたが、今後の新たな方向性について意見交換をしました。

同日の教育支援委員会の答申については、ご出席いただきありがとうございます。

17 日に尖石考古館土器寄託式がありました。新聞でご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、昭和 17 年に宮坂英弼先生が発掘した土器です。それを当時の東京帝室博物館に展示するというので一旦東京へ運びましたが、戦時下でもあり、また、担当者の徴兵などにより経緯が分からなくなっていました。今年になって博物館の方々が所在を調べた上で、尖石縄文考古館へ電話の問い合わせをしてくださり、所蔵者へ返却することが決定しました。

また、同日に所蔵者から尖石縄文考古館へ寄託をしていただけることとなりました。

同日に要対協代表者会議がありました。

18 日につつじ学園との懇談会がありました。つつじ学園からの要望をお聞きし、今後、連携協力していくための話し合いを行いました。

この日は議会の閉会日でもありました。

20 日に愛してるぜ茅野ミーティングがありました。ご出席いただいた教育委員の皆様ありがとうございました。

今回は中学生が入試を控えているため、高校生中心の少人数で行いました。

内容は公共交通のあり方について、個人的には良い意見が出たように感じました。

本日は定例教育委員会があります。

報告事項第 1 号については以上です。

続いて、報告事項第 2 号について、各課からお願いします。

[各課から1月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

次に議案第1号と2号「茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について」「茅野市立小学校及び中学校開放施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について」をお願いします。

学校教育課長

議案第1号と議案第2号については、関連するものとなりますので、続けてご説明させていただきます。

先月の定例教育委員会でご説明をさせていただきました、茅野市立小学校及び中学校施設使用料条例の一部を改正する条例につきましては、その他3でまたご報告をさせていただきたいと思います。条例改正が承認されていますので、規則及び要綱の改正をお願いします。

北部中学校の体育館の中にある柔道場及びミーティングルームにつきましては、利用者の利用希望があるということで、この2つの施設を加えるための改正になります。

開放施設の一部を次のように改正するため、北部中学校柔道室と北部中学校ミーティング室を加えてあります。

また、附則としまして、この規則は令和3年4月1日から施行するものです。

議案第2号に関しましては、開放施設を利用する利用団体の登録に関するものになります。

テニスコートにテニスコート・北部中学校柔道室・北部中学校ミーティング室を加えて改めるものになります。

附則としまして、この告示は、令和３年４月１日から施行するものです。

以上につきまして、ご審議のほどよろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。

議案第１号、議案第２号についてご承認いただけますでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

議案第１号、議案第２号は承認となりました。

次に検討事項第１号「総合教育会議の内容について」をお願いします。

学校教育課長

先月の定例教育委員会でご提案いただきました、教育委員会に関する公共施設の今後の方針や進め方についてご意見を頂きました。

それにつきまして、今回の総合教育会議でお話しをさせていただければと思っています。

また、日程についてですが、２月９日火曜日の午後１時３０分から午後３時までということで予定をしています。

教育長

総合教育会議の内容について新たにご提案等ありますか。

全委員

なし。

教育長

また何かありましたら、事務局までご連絡ください。

次にその他１「ひとり親世帯臨時特別給付金『基本給付』支給について」をお願いします。

こども課長

資料説明 その他 1

【概要】

1 趣旨及び経過

ひとり親家庭は、非正規雇用労働者の割合が高く収入が少ないなど、元々経済的基盤が弱く厳しい状況にある中で、その生活実態が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、年末年始に向け、予備費（国）を活用して、給付金の基本給付の再支給を実施する。  
令和2年12月8日 「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」について 閣議決定

令和2年12月11日 令和2年度予備費が閣議決定

2 基本給付の再支給

【支給対象者】

- ①令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けた者
- ②公的年金給付等を受けていることにより児童扶養手当の支給を受けていない者（※児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者に限る。）
- ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった者

【給付額】

1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円

【対象見込数】

約462世帯 約700人

【費用】

全額国庫負担

3 スケジュール

12月15日（金） 再支給に関する通知発送

12月18日（金） 追加議案（令和2年度茅野市一般会計補正予算（第8号）  
提出、同日議決

12月21日（月） 振込通知書発送

12月25日（金） 給付金振込

資料の 2 ページからになりますが、今回の支給にあたり給付金の実施要綱が一部改正となっております。詳細は資料をご覧くださいと思います。

こちらの資料は茅野市の要綱となっており、茅野市の告示が 258 号となります。

施行日は 12 月 21 日付けということになりますので、合わせてご確認くださいと思います。

その他 1 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

勅使川原委員

支給対象者 3 番の新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった者とありますが、実際にはどのくらいの対象者がいるのか教えてください。

こども課長

約 42 世帯が対象となります。

勅使川原委員

対象者の方々は申請が済んでいるということによろしいですか。

こども課長

実際には約 140 世帯ほどの方々が申請をしていただいていない状態です。しかし、その方々にも急変した場合、対象となる旨の案内を送付し、申請があれば聞き取りを行いながら対応をしていく予定です。

勅使川原委員

ありがとうございました。少しでも状況が改善できるよう、よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。

次にその他 2 「市議会 12 月定例会一般質問について」 お願いします。



生涯学習部長

その他 2 の資料をご覧ください。

市議会 12 月定例会一般質問についてですが、7 名の議員から一般質問がありました。

発言順に回答要旨をご説明させていただきます。

はじめに、樋口敏之議員より国宝「土偶」（縄文のビーナス）が出土した棚畑遺跡の整備について、2 項目のご質問をいただきました。

1 点目の縄文のビーナス出土場所の整備費について、国宝「土偶」の出土地である棚畑遺跡は、工業団地の造成に伴い、昭和 61 年多数の遺構・遺物を発掘しています。棚畑遺跡の特徴は、146 軒の住居跡からなる縄文時代中期の環状集落が二つ並んで形成されており、中部高地の他の遺跡ではみられない巨大な住居跡が発見されました。棚畑遺跡は造成され一角に石碑と説明看板を設置し、石碑は、昭和 61 年建立、13 年改修、国宝土偶出土地であることを彫込表示しています。説明看板は、平成 23 年に設置し、「縄文のビーナス」出土状況と棚畑遺跡について説明しています。棚畑遺跡は調査終了後に造成され消滅していますので、史跡指定は不可能で、民有地のため遺跡整備も困難な状況です。棚畑遺跡の知名度を高め、記念場所となるよう「縄文の里史跡整備・活用基本計画」に基づき、日本電産サンキョー株式会社様の理解を得ながら国宝土偶の出土地整備を考えていくと回答させていただきました。

2 点目の PR の考え方について、尖石縄文考古館特別展示室で、「縄文のビーナス」出土状態の大型写真、出土地棚畑遺跡を紹介しています。同館の「展示図録」「茅野市縄文ガイドブック」、茅野市縄文プロジェクトホームページで、棚畑遺跡航空写真や発掘図面に出土地点を表示し、遺跡と「縄文のビーナス」の関係を表示しています。「茅野市縄文かるた」で棚畑遺跡に触れ、遊びを通し広めています。展示や書籍等だけでなく「縄文遺跡をめぐるバスツアー」を毎年開催し、国宝土偶の出土棚畑遺跡と中ッ原遺跡、尖石遺跡、上之段遺跡、駒形遺跡に市民を案内しています。現地で発掘経験豊富な学芸員から遺跡の概要や発掘調査の状況が聴けるので人気があります。遺跡マップ活用で棚畑遺跡の場所を周知、探訪を促しています。

平成 30 年茅野市を含む長野県と山梨県の 14 市町村の縄文遺産が「日本遺産」に認定されました。「三十三番土偶札所巡り」は、構成自治体が誇る 33 土偶等を観覧、縁を結んだ証として御朱印をいただくユニークな事業で好評を博しています。

棚畑遺跡出土の小さな土偶「おやゆび姫」も「縄文のビーナス」の相乗効果で棚畑遺跡の知名度を高めています。広域取組みを上手に活用して、国宝土偶出土地としての棚畑遺跡、茅野市の縄文 PR に努めていくと回答をさせていただきました。

続いて、伊藤正博議員より地域特有の文化資源の活用について、2 点のご質問をいただきました。

1 点目の地域にある文化資源の把握について、茅野市は、この地の気候や風土に生まれ、守り、伝えられた多くの文化資源があります。文化財である特別史跡尖石石器時代遺跡や

2体の国宝土偶は、茅野市を代表する文化資源ですが、板倉、鰻絵、山浦民謡、寒天蔵も大切な文化資源と認識しています。

平成22年茅野市無形文化財に指定された山浦民謡の「エーヨー節」「天屋節」は、保持者である保存会により音階が採譜され、譜面、歌詞、起源を「茅野市の文化財」に掲載し、レコードに収録、踊りも付けられ十分な把握ができています。

市文化財に指定されていない板倉と寒天蔵、指定の無い山浦民謡と鰻絵は、十分な把握ができていない状況です。指定のない文化資源は、所有者、行政区、学術団体などが、イベント、調査・研究、ホームページ、報告書、写真集など、さまざまな方法で文化財の価値、重要性、魅力などを発信しています。関係者が発信する情報等で文化資源を把握してきています。今後も多面的に地域の文化資源の把握に努めていくと回答をさせていただきました。

続いて、2点目の文化資源の活用について、板倉、鰻絵、山浦民謡、寒天蔵の文化資源は、「エーヨー節」「天屋節」を除き、市文化財に指定及び市所有ではないため、十分な活用ができていない状況です。平成26年八ヶ岳総合博物館で、鰻絵写真展と左官職人講師のワークショップを開催しています。

文化資源の活用は、保存と表裏一体となっており、関係者は、活用に関わる取組と得た学術的な情報を文化的向上に役立て、担い手の育成や継承につなげていただきたいと思っています。活用等についてはできる範囲で支援していくと回答をさせていただきました。

こども部長

続いて、松山孝志議員より不登校問題と主任児童委員の関わりについて、小項目として4点のご質問をいただいています。

1点目の茅野市における不登校の実態について、令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果、全国小学校千人当たりの不登校の児童数は8.3人、前年度1.3人増、県は11.1人で、前年度1.6人増となっています。全国中学校では39.4人、前年度2.9人増、県は42人、前年度3.6人増となっています。

県教委では、増加の背景として、「教育機会確保法」により、「不登校は問題行動ではない」との理解が、学校や保護者の間に広がったことも要因の一つである、との見解を示しています。

市内小学校千人当たりの不登校の児童数は、12.6人、市は前年度から0.5人の減。中学校は43.7人で、前年度8.9人増。ここ数年国・県の状況と同じ傾向が見られると回答をさせていただきました。

2点目の不登校となる理由について、令和元年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果では市内の結果は以下のとおりとなっています。

①「無気力、不安」は小学校43.2%、中学校36.4%。本人の不安や無気力を生んでいる背景を慎重に見極める必要があります。

- ②小学校で多いのは、親の単身赴任や両親の離婚等の「家庭環境の急激な変化」10.8%。中学校では、主たる要因として挙がっていないことから、小学校段階での家庭環境の急激な変化が、児童に与える影響が大きいと考えられます。
- ③中学校で多いのは、「いじめを除いた友人関係をめぐる問題」、20%弱を占めています。思春期における友人関係の重要性が浮き彫りになっています。
- ④小中学校とも「生活リズムの乱れ」が、8~9%。ゲーム依存等が大きく関わっていると推測されます。
- ⑤中学校の大きな要因となるのが、「学業不振」で20%。わかりやすい授業をより進めることが求められます。

以上の要因が複合的に重なっていることから、専門的見地から分析を行い、総合的に捉えることが重要であると回答させていただきました。

3点目の不登校への教育委員会としての対応について、育ちあいちのは、総合相談窓口として、専門職を配置し、ケースに応じ対応しています。

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、県との連携も図っています。

各学校の状況については、毎月実態について報告を受け、指導主事が分析や助言を行っているほか、「不登校等対応検討会」を開催しています。また、フレンドリールーム、適応指導教室を設置し、相談・支援を行っています。令和元年度には4中学校、今年度1小学校にサポートルームを開設しました。

文科省から、不登校対応は、教室復帰を目的とするのではなく、将来自立する力をつけていくために多様な学びの場をつくり、進めていくことが必要であるとの見解が示されています。サポートルームも同じ考えに立ち、多様な学びの場のひとつとして、児童生徒の支援を行なっていくと回答させていただきました。

4点目の主任児童委員からの情報連絡への対応について、主任児童委員は、関係機関等と児童委員との連絡調整や、児童委員の活動に対する援助や協力を行うこととされ、令和元年11月の民生・児童委員の改選により、令和元年12月から、新たに指名された15名の主任児童委員で活動を行なっています。

主任児童委員会は月1回開催することとなっています。

個人情報についての取り扱いは、特に慎重に取り扱う必要があることから、民生委員法に定められている守秘義務に基づき、信頼関係を損なわない活動を行なうよう確認しました。

各校のコミュニティースクール内に主任児童委員、民生児童委員を中心に家庭教育支援部会を組織し、地域の子育てネットワークを構築しています。活動を通じてお互いが顔見知りになることで、地域に戻った時も身近な相談相手として、子どもと家庭を支える身近な支援が広がることを期待しています。

今後も主任児童委員、民生児童委員の皆さんとの連携を深め、「地域の子どもは地域で育てる」豊かな関係作りを共に進めていきたいと回答させていただきました。

生涯学習部長

続いて、木村明美議員より縄文プロジェクトの推進について、小項目として2点のご質問をいただきました。

1点目の第5次総合計画における縄文プロジェクトの取組について、平成22年、自然と共存共生した縄文文化の価値を多様な市民生活にいかし、まちづくりにつなげる構想が生まれ、縄文文化に学び、現代社会が抱える課題を解決する糸口を見出すために「縄文プロジェクト」が立ち上がりました。プロジェクトを進める組織「縄文プロジェクト推進市民会議」では、縄文検定、縄文月間、縄文ふるさと大使などの縄文のまちづくり施策につながっています。平成26年「土偶」が国宝指定され、学校で縄文科がスタートしています。学びは、茅野市教育が目指す「たくましく、やさしい、夢のある子ども」の実現であり、学校教育目標「生きる力」の実現となっています。国宝指定をきっかけに、実行市民会議へ展開が図られ縄文のまちづくり、人づくりがスタートし現在に至っています。平成28年縄文プロジェクト推進室が発足し、縄文プロジェクトを「識る」「広める」「産み出す」「楽しむ」「守る」の5つの視点から具体的な実行へシフトしました。

平成30年5月、茅野市を含む長野県・山梨県14市町村の縄文遺産群が日本遺産に認定されています。甲信縄文文化発信・活性化協議会を設立し、国交付金を活用し事業を進めています。広域的な連携により、観光面も大きな効果を期待していると回答させていただきました。

2点目の「縄文ドキドキ総選挙」の結果を受けて、更なる縄文の普及について、総選挙は、縄文土器や土偶をこよなく愛する任意団体である「縄文ドキドキ会」が主催開催しました。目的は「10月9日土偶の日にちなみ、投票というゲームを通して縄文時代にファン目線で親しんでもらうため。」投票期間は令和2年10月1日から10月31日までの1ヶ月間、フェイスブックやグーグルのアカウントがあれば投票できる仕組みです。投票総数は6,681票で、「縄文のビーナス」が2,191票第1位。同会は、平成25年～27年「全国どぐキャラ総選挙」、平成28年「縄文美土偶グランプリ」を開催し、縄文文化普及に取り組んでいます。「縄文ドキドキ総選挙」1位の獲得は、「縄文のビーナス」が土偶をもっとも代表する存在の表れと思っています。

縄文時代は、人と自然が共生した争いのない平和な時代と言われ、縄文の精神性は、持続可能なまちづくり、SDGsの理念に通じています。縄文プロジェクトは、縄文の精神性を現代の暮らしに反映、後世に伝えるSDGsの取組であり、まちづくり人づくりに活かす取組であると思っています。

茅野市は、国宝土偶が出土した棚畑遺跡と中ッ原遺跡など日本を代表する縄文遺跡があり、価値を高める取組として史跡整備を積極的に進め、縄文の本質（精神性や生き方など）を極める取組を進めたいと回答させていただきました。

続いて、机博文議員よりコロナ禍における地域活動について、2点のご質問をいただきました。

1点目の地区コミュニティ運営協議会の活動について、未知のウィルス対策に手探りの状況下、運協や地区公民館及び分館、地区社会福祉協議会、区・自治会など様々な団体は、行事や会議等、多くの活動を中止せざるを得ない状況が続く、外出自粛等特に高齢者の健康状態も心配されています。諏訪中央病院の先生方に協力いただき、感染経路の特長や防止対策をまとめたパンフレットを作成し周知しています。パートナーシップのまちづくり推進会議やゆいわーく茅野講座等も、新型コロナウイルス感染症対策を講じた活動再開について市民と学んできました。

地区の集まりやほろ酔い座談会において、新型コロナウイルス感染症対策の学習会を開催し、活動が再開できるか考えていただいています。各団体に感染防止対策の徹底に加え、「規模を縮小」「大勢が集まらないなら出向く」等工夫し、また、会議開催で人数制限やレイアウト変更、書面表決実施など、新しい活動様式を踏まえて再開してきています。地域コミュニティ活動の停滞は、人と人の関係性が薄れ絆の繋がりが弱まってきます。健康に暮らせ、安全・安心な地域づくりを進めるために、活動再開に向け歩み出していただきたいと思います。「新しい区・自治会活動様式支援補助金」を交付し支援も行っていると回答させていただきました。

2点目の公民館活動について、中央公民館では「集う、学ぶ、結ぶ」を主な活動として来ましたが、新型コロナウイルスの脅威で活動本質「集う」ことが難しい状況に陥り、「学ぶ」と「結ぶ」を継続するため、ビーナチャンネルを活用し折り紙講座やピラティス等の動画配信をしてきました。

施設の再開に使用マニュアルを作成し、ソーシャルディスタンスを保つ注意喚起を促し、感染予防の徹底をお願いしてきました。高齢会員が多い団体や運動系、音楽系、料理サークルは、現在も自主的活動自粛が見受けられます。昨年9月利用者数と今年度の比較では、高齢者大学等の活動中止等で63.3%の利用者数に留まっています。高齢者大学や秋の芸術祭が開催できなかったが、ロビーの活用により、ロビー展を通常より多く開催し、各団体の作品発表の場としています。

各地区事業について、文化祭やスポーツ系の事業の多くが中止となっています。感染予防に注意を払いながら講座を企画開催している地区もあります。また、多くの分館で例年のイベントができない状況で各分館役員は苦慮していますが、できることを見出し工夫した事業が行われています。分館活動を応援するためにどうしたら感染リスクを避け活動が継続できるのか、次年度役員に役立つ情報を提供し、ウィズコロナという新しい生活様式で、持続可能な公民館活動を一緒に模索していきたいと回答させていただきました。

続いて、東城源議員から茅野市公共施設再編計画（案）のスポーツ施設について、2点のご質問をいただきました。

1点目の近隣市町村との連携について、維持管理に高額費用を必要とする施設は、財政上単独の市町村で維持管理するのは難しい状況にあります。大規模改修等が必要となる場合、諏訪6市町村共同で施設管理を行うことも考えられてきましたが、設置数、用途、規模、建設年数等が異なり共同管理が難しい状況にあります。施設共同管理について話題に上がっていたが各市町村の設置や整備の状況が違うため、具体的な解決には至っていません。

市町村間の連携について、他市町村の大会や行事等相互に利用しています。茅野市も平成23年運動公園陸上競技場の大規模改修の際、岡谷市陸上競技場の利用を依頼したと回答させていただきました。

2点目の陸上競技場としての機能維持とはどういったものかについて、陸上競技場の機能維持は、利用者が競技大会や練習等を安心して安全に利用できる状態を維持することと考えています。陸上競技大会開催には、公認陸上競技場であることも大事な機能です。

公認陸上競技場は「日本陸上競技連盟が連盟競技規則に従い認定した、公認競技会を開催し得る十分な精度がある適切な陸上競技施設。」運動公園陸上競技場は、昭和62年第2種陸上競技場として公認、平成13年ルール変更で第3種陸上競技場となり、平成23年全天候舗装に転換するルール変更に対応し、2億4千万円の費用を投じた全天候舗装リニューアルしたことで第3種公認を継続しています。公認の有効期間は5年間、令和3年11月30日公認期間が終了します。

公認継続には、5年ごとの更新に日本陸上競技連盟に公認料を納付し、基準に基づく施設及び用器具の補修、改修等を行う必要があります。公認料は75,000円ですが、それに伴う全天候舗装などの施設改修に令和3年度約8,000万円、5年後令和8年度に約5,000万円、10年後令和13年度に1億円以上の高額費用が見込まれています。

高額改修費用に対応して多くの自治体が“スポーツ振興くじ助成金”を財源に充てていますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、希望金額が助成されない事例もあり、ますます自治体の負担が増大してきています。運動公園スポーツ施設は、建設から40年を超えるものもあり老朽化が進んでいます。計画的改修を進めていますが、運動公園全体で10億円を超える費用がかかる見込みです。

茅野市公共施設再編計画（案）では、運動公園のスポーツ施設全体の維持を考慮し、陸上競技場は、「陸上競技場の機能は維持するが、第3種公認更新に伴う改修工事費が嵩むため、公認更新は今後のあり方を検討する。」方針であります。現在、パブリックコメントによる市民意見を参考に関係者協議をしています。市民の理解を得る中で公認陸上競技場として更新するか、最終的な結論に至る途中の段階にあります。今後市の全てのスポーツ施設とその機能維持し続けることは難しいですが「市民1スポーツ」の推進に寄与するスポーツ施設の維持管理に努めていくと回答をさせていただきました。

こども部長

続いて、木村かほり議員よりコロナ禍における学校の対応について、小項目として3点ご質問をいただいています。

1点目の休校、学級閉鎖時のオンラインを含む対応の準備について、9月3日付けの文科省のマニュアル「学校の新しい生活様式 Ver. 4」が12月3日付けで改訂され、「Ver. 5」となりました。この中では臨時休業を直ちに行うのではなく、設置者において保健所と相談のうえ臨時休業の要否を判断すること、また、必要に応じ文科省に報告、相談することとなりました。

万が一休業となった場合を想定し、各校では児童生徒の状況や発達段階、また教職員や地域の状況等を考慮して、詳細な計画を立て、準備を進めています。

規模や状況に合わせオンラインや対面での学習、分散登校を組み合わせることで実施の予定をしており、可能な限り、対面での学習を大切にしたいと考えています。

現在一人一台のタブレットの整備を進め、年度末には環境が整う予定であり、基本的には、学校での利用が前提ですが、休業時の持ち帰り利用を想定しての使い方の練習を行っています。

休業になった学校は、現有のタブレットを集め、端末が無い家庭に貸し出しを行います。休業が決定した翌日までには貸し出しができるよう、シミュレーションを行っています。また、Wi-Fi 環境のない家庭には、携帯ルーターの貸し出しを行う予定ですが、台数に限りがあるため、コミュニティーセンター等の利用も考えています。休業中の課題や予定、オンラインで行う授業の内容については、各校より学年ごとの内容をお知らせする予定となっています。

市教委としては、支援・相談のための体制を整え、「育ちあいのち」を中心に相談や心のケアを行います。

感染等の状況を、その都度見極めながら、対応をしていきたいと回答をさせていただきました。

2点目の保護者やこどもの意見を反映した協議の現状について、11月28日にどんぐりネットワーク茅野主催の「第1回拡大幹事会」が開催され、コロナ禍での学校教育について意見交換を行いました。

今後も、子育てや教育について、広く意見交換のできる場として、拡大幹事会を開催していきたい、との声が聞かれました。ご参加いただいた方々が、自身に関わりのある学校や地域へ意見を持ち帰り、それぞれの活動が活発になっていくことを期待したいと回答させていただきました。

3点目のコロナ禍における登校不安への対応について、市内の小中学校では、6月1日からの学校再開に合わせて、「寺子屋タイム」をおおむね6月末まで実施してきました。また、保護者対応の懇談会も実施してきました。

必要に応じて「育ちあいの」や外部機関とも連携し、支援につなげています。

2学期になり、通常の日課にかなり戻ってきました。分散登校が生活リズムに合い、不登校傾向が改善された例が複数見られた反面、休業以来休みが続いてしまっている例もやがあります。

「ソーシャルディスタンス」「三密の回避」「マスク・手洗い・消毒」等の従来の予防対策に加え、給食時の感染防止策として、低学年では飛沫防止ボードを使用することや、寒冷時の換気の工夫、湿度の確保などに気を配りながら、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、環境を整えていくと回答させていただきました。

その他2については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他3「市議会12月定例会議決結果について」お願いします。

こども部長

その他3の資料をご覧ください。

はじめに議決結果について、ご説明させていただきますので、裏表印刷された資料をご覧ください。

今回の12月定例会では、議案が17件、陳情が2件あり、全て可決又は承認をいただいています。

教育委員会に関係するものとして、議案第60号は小中学校コロナ対策に係る予算の組み替え等についてとなります。

議案第62号、議案第63号は、笹原保育園関係の土地、建物の無償貸与、無償譲渡についてとなります。

議案第66号は、公の施設の指定管理者の指定について、スケートセンター等の指定管理についてとなります。

議案第68号は、北部中学校の柔道場等、学校開放施設に係る使用料についての一部改正となります。

議案第69号は、保育所条例の一部を改正する条例についてとなります。



議案第 72 号は、茅野市一般会計補正予算第 7 号についてとなります。こちらは人件費や市民館の中央監視施設等に関する補正となっています。

議案第 76 号は、茅野市一般会計補正予算第 8 号補正についてです。12 月 18 日に追加議案として提出されたものになります。こちらは先ほど、こども課長から説明がありましたが、ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給についてとなります。

国ではひとり親世帯臨時特別給付金を年内に再支給することを 12 月 8 日に閣議決定し、12 月 11 日に国予算の予備費を活用することを閣議決定したところです。そのような決定を受けての追加議案となります。

その他 3 の補正予算資料をご覧ください。

1 ページをご覧ください。

第 1 条として、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 39,918 千円を追加し、歳入歳出それぞれ 32,496,332 千円とするものです。

2 ページの第 1 表歳入歳出予算補正で、款項それぞれの補正額については、3 ページの中央の列に記載のとおりとなります。

5 ページからは、歳入歳出補正予算事項別明細書の総括表について。

8 ページからは、歳入の明細について。

10 ページからは、歳出の明細についてとなっています。

はじめに歳出について説明をさせていただきます。

10 ページをご覧ください。

3 款民生費で、39,918 千円の補正増となります。

2 項 3 目事業 5 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費の国庫補助事業で同額の補正増となります。

ひとり親家庭は新型コロナウイルス感染症の影響により生活実態が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、令和 2 年度 6 月分の児童扶養手当の支給を受けている世帯などを対象とし、1 世帯 5 万円、第 2 子以降 1 人につき 3 万円が給付されます。

給付対象者は先ほど説明があったとおり、462 世帯を予定し、12 月中の給付を予定しています。

なお、特定財源として、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費及び事務費補助金を全額充当するものです。

以上が歳出についてです。

続いて、8 ページの歳入についてご説明させていただきます。

15 款国庫支出金で、39,918 千円の増となります。

以上が議案第 67 号の内容です。

こちらは、12 月 18 日に上程され、同日に可決をされたものになります。

その他 3 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他4「愛してるぜ茅野ミーティング2020の報告」お願いします。

こども課長

その他4の資料をご覧ください。

先日開催をさせていただきました、愛してるぜ茅野ミーティング2020について、ご報告させていただきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、子ども、大人ともに少数による参加とし、テーマを「通学・通勤・みんなで考える移動のかたち」としました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、なかなか大人と子どもが集まることができない厳しい状況の中、世代を超えた様々な年代の大人と子どもたちが、住みやすく、住んでみたくなるまちづくりについて、一緒に考える機会となりました。

テーマの設定の経緯ですが、昨年、未来プロジェクトの中高生メンバー内で「大人にどんなイメージを持っているか」を話し合ったところ、まず初めに出てくるのは大人に対する悪いイメージでした。

未来プロジェクトではその原因を、子供と大人がお互いのことを知り合えていない、本音で話ができているからだと考えました。

そこで未来プロジェクトでは、子どもと大人が一步あゆみ寄り、お互いを思いやれる世の中が理想ではないかと考え、お互いのイメージを本音で語り合うこども会議にしたいと願いを込め、全体のテーマを考えました。

本年においてもそのイメージを踏襲しつつ、より子どもと大人が理解し合うための話し合いのテーマを検討しました。

その折、未来プロのメンバーを含むCHUKOらんどチノチノの高校生を対象に、市から公共交通や通学バス実証運行などへの意見を求められる機会がありました。

この体験から、自分たちのこれからの通学や、保護者の通勤を含めた人の移動について、改めて考えていく会議にしたいという思いが募り、本年のテーマを「通学・通勤・みんなで考える移動のかたち」としました。

今回の会議参加者についてですが、茅野市ぼくらの未来プロジェクトメンバーが7名、大人が9名の参加となりました。

資料2 ページからは、会議の概要となりますが、今回はアイデアソン方式により会議を行いました。

実証実験が始まった通学バスについて、高校生メンバーが実際に利用した際の動画の発表を行い、参加者全員が市で行われている事業についての共通意識を持つことから始めました。

そして、2 グループに分かれて、茅野市にある地域資源を掛け合わせ、人の移動に関する新しいサービス、価値、商品及びライフスタイルを提案する「アイデア 100 マス計算」を実施しました。

具体的には、100 マス計算の中でそれぞれのキーワードを掛け合わせて何ができるか、アイデアを出しながらマスを埋めていくことを行いました。

出たアイデアをさらに磨き上げていくために、1 つは公共交通のテーマを取り入れたものを作成し、あとは自由に作成していただきました。

一部ご紹介させていただきますと、チノチノとライン・ツイッターなどをかけ合わせて、情報の発信やSNSのアカウントというものがアイデアとして出てきました。

これをもっと具体的な価値にしていくために、現在チノチノのアカウントを1 人しか持っていない状況ですので、さらに人数を増やしてSNSの発信を増やしていこうという意見や、その中でスタジオなどの空き情報も発信していくようにしようという意見が出ました。

また、チノチノのプライベートブランドを創り上げていく中で、クラウドファウンディングでの資金集めをしたらどうかなどの意見も出されました。

公共交通をテーマにしたアイデアでは、バスとデマンドタクシーをかけ合わせて登山口行のデマンドバスをつくったらどうかという意見が出ました。

茅野市には温泉が沢山あったり、特産物があったりする中で、タクシーだと団体で行きづらい場所もデマンドバスという形になると団体客でも活用しやすいのではないかなというようなアイデアが出てきています。

また、ユーチューブやインスタグラムとバス・タクシーをかけ合わせて、ユーチューブやインスタグラムの広告視聴によってバス・タクシーの割引が出来るのではないかなという意見が出されました。

4 ページをご覧ください。

バス・タクシーと地域通貨をかけ合わせて地域通貨を使って乗れるようにしようという意見が出ました。

地域通貨をどのようにして貯めていくかという課題については、買い物、ボランティア、バスやタクシーなどを使うことによって、地域通貨を貯めていき、その貯まったポイントでバスの乗車が1 回無料になるような仕組みにしたらどうかというアイデアが出ました。

このような話し合いを子どもと大人が一緒になってやったところですが、限られた時間の中ではありませんでしたが、沢山のアイデアが出されたと思います。

今年は少人数での開催となりましたが、未来プロのメンバーはコロナ禍の中で思うように活動ができていませんでした。その中でも自分たちができることを模索しながら活動を続けてきています。

愛してるぜ茅野ミーティングに向けて、今、話題になっている公共交通について意識しながら自分たちでも体験をしたり、どんなことができるのだろうという思いを持って、今回の会議に参加していただきました。

その中で、今回は少ない人数ではありましたが、それぞれ自分の活動の成果の発表の場にもなり、大人との関わりという部分でも十分にできたのではないかなと感じます。

その他4については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他5「令和3年度地区公民館長の選考について」お願いします。

生涯学習課長

その他5の資料をご覧ください。

令和3年地区公民館長の選考について、茅野市公民館管理規則の第4条第3項に基づきまして、地区館長については、館長が選考し、教育委員会が委嘱することになっております。

従いまして、令和3年は資料のとおり10名の方を選考いたしました。

なお、委嘱日ですが、令和3年1月1日となりますので、よろしくお願いします。

その他5については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

10名の方々に委嘱してよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

次にその他 6 「昭和 17 年尖石遺跡出土土器の寄託について」 お願いします。

文化財課長

その他 6 の資料をご覧ください。

昭和 17 年尖石遺跡出土土器の寄託について、文化財課よりご説明させていただきます。

この件につきましては、11 月定例教育委員会で概要を口頭で説明させていただきましたが、去る 12 月 17 日に教育長及び寄託者である高天酒造社長高橋政幸様同席のもと、尖石縄文考古館において報道発表させていただきました。

まず出土場所ですが、尖石遺跡の社会的地区といわれる網掛けの範囲内と考えられています。

次に経緯ですが、昭和 17 年 9 月 23 日に出土し、同日に尖石遺跡が国指定史跡となることが決定しました。

資料 1 をご覧ください。

信濃毎日新聞の記事に「縄紋式珍土器 尖石地籍から発掘 東京博物館へ出陳」との見出しで紹介され、記事中に「原型をいささかも破損することなく発掘が出来たもので全国的にも珍しいので今回東京博物館の懇望に依り」とあります。＃

昭和 4 年に東京帝室博物館に搬入されましたが、新しく「預入」をしないという方針により、奈良帝室博物館で展示されることになりました。しかし、搬送後、接合部がとれたため展示せず、昭和 4 年に東京帝室博物館へ再度搬送となりました。その後、どこで壊れたかは定かではありませんが、戦中戦後という状況下で難を逃れながら、資料 2 の状態で保管されてきました。令和元年 5 月に東京国立博物館から 1 本の電話があり、考古館の資料と照合する中で、昭和 4 年に出土した土器であることが確認されました。修復した後に所有者へ返却されることとなり、資料 3 のとおり修復され所有者の意向により寄託されることとなりました。

なお、寄託については、尖石縄文考古館管理規則に基づいています。

この土器が持つ学術的な価値ですが、2 点あると考えています。

1 点目は縄文集落の構造研究に大きく寄与した資料だと言えます。

2 点目は昭和初期までの発掘調査のあり様をよく示す資料であると言えます。

詳細については、資料をお読みいただきたいと思います。

現在、考古館内の常設展示室 A に展示しています。

今後とも縄文時代の研究をさらに深め、整備基本計画に基づいた保存及び活用を図ってまいりたいと思います。

その他 6 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 7 「令和 2 年度保育園卒園式及び令和 3 年度入園式の日程について」 お願いします。

幼児教育係長

その他 7 の資料をご覧ください。

令和 2 年度の卒園式及び令和 3 年度の入園式の日程の確認をお願いいたします。

令和 2 年度の卒園式についてですが、ちのせいぼ幼稚園が 3 月 16 日、わかば保育園、玉川どんぐり保育園、よこうち認定こども園が 3 月 19 日、市内公立保育園が 3 月 23 日となっております。

令和 3 年度の入園式につきましては、4 月 1 日が市内の公立私立保育園及び認定こども園になります。

4 月 3 日が野あそび保育ささはらの入園式の予定日となっています。こちらだけ予定となっているのは、これから認可の手続きがありますので、認可されたことを前提として予定させていただいています。

4 月 7 日がちのせいぼ幼稚園の入園式となります。

詳細が決まりましたら、改めて通知させていただきます。よろしくお願いいたします。

その他 7 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 8 「令和 2 年度小中学校卒業式及び令和 3 年度入学式の日程について」 お願いします。

学校教育課長

その他 8 の資料をご覧ください。

令和 2 年度の小中学校卒業式については、3 月 17 日が小学校の卒業式、3 月 18 日が中学校の卒業式を予定しています。

令和 3 年度の小中学校入学式については、4 月 6 日の午前に中学校、午後に小学校の入学式を予定しています。

また、3 月 26 日と 4 月 1 日に行事を予定していますが、入学式、卒業式とあわせましてご通知をさせていただきます。

その他 8 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

その他で質問等ありますか。

勅使川原委員

成人式についてお伺いします。

先程、開催について検討中というお話がありましたが、成人式については、様々なところへの影響が大きいと思います。

早急に市の方針を決定していただければと思います。

また、決定した内容についても広く周知できるようにしていただきたいと思います。

成人式を行うことになった場合、教育委員会の職員の方々にも従事していただくことになると思いますが、職員体制の考え方についてお聞かせください。

また、成人式の参加人数や、これまで成人式を実施するにあたって対応してきたことについてもお聞かせください。

生涯学習課長

現在、出席ということでご返答をいただいているのが、約 400 名います。

ハガキを発送させていただいた対象の方が、約 700 名います。

当初、開催方向で進んでいた時には、帰省するときから 2 週間までの行動が大事だということのメッセージを中央病院の先生監修のもと、ホームページ上に載せてあります。

また、成人者に対しましては、開催案内とともに今後の状況に合わせて変更が生じる可能性があるため、必ずホームページには目を通していただくよう、文面を付け加えてあります。

茅野市へ来るまでの感染症対策については、メッセージとして周知してきたところです。

勅使川原委員

ホームページ上だけでは確実に情報が行き渡らないように思いますので、もう一度、一人一人に通知を出すということも検討してみてください。

生涯学習部長

現在、理事者との打ち合わせは毎日のようにしている状況ではありますが、最初の思いとしては、成人を祝ってあげたいという気持ちが大きくありました。

市長さんの今までのメッセージ性も鑑みながら、全体を含めて、早めに周知する必要があると感じています。

勅使川原委員

個人的な意見になってしまいますが、延期はあったとしても、中止ということはさすがに可哀想に思いますので、そのような事が無いように希望します。

永嶋委員

私からも、早めの周知と最低でも延期となるよう検討していただき、勅使川原委員と合わせてお願いをしたいと思います。

生涯学習部長

今後の理事者との打ち合わせでは、今回のご意見をお伝えさせていただき、再度スピード感を持って協議していきたいと思います。

勅使川原委員

ありがとうございました。

続いて、新聞報道等でも載っていましたが、縄文マラソンについてお伺いします。

縄文マラソンがここで終わりとなりましたが、どのような経緯で中止の判断をしたのかお聞かせ願います。



スポーツ健康課長

今回、縄文マラソンの中止を決定した経緯としては、史跡の拡張が予定されている中で、駐車場として利用されている場所があります。

縄文マラソンを実施した場合、今後駐車場が使えなくなります。その中で参加者の半分以上が駐車場を利用している状況であり、代用としてバスの送迎等をした場合、費用が今まで以上に掛かってしまいます。

そうした中で、おそらく参加者は減っていく傾向になると思います。

また、警察や医師会の方からも警備や医療体制に関して毎回指摘を受けている状況です。

それに対応するためには、さらにスタッフを増やす必要があり、約 1000 名の参加者に対して約 500 名ほどのスタッフが必要となります。

そのようなこともあり総合的に判断し、委員会にも意見を求めた結果、中止という判断をさせていただきました。

縄文マラソンに代わるものとして、小学生中学生のマラソン大会は継続していくようにしたいと思います。

勅使川原委員

市外の方も多く参加されていた大会で、茅野市の魅力を発信するひとつのいい機会になっていたと思いますが、また何らかの方法で発信されることを願っています。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回 1 月の予定を報告させていただきます。

定例教育委員会を 1 月 26 日（火）午前 9 時 30 分から 8 階大ホールで行います。

事務局会議については 1 月 14 日（火）午前 9 時から 602 会議室で行います。

教育長

ありがとうございました。以上で 12 月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 2 年 1 月 26 日

茅野市教育委員会          教   育   長

同職務者代理

委                  員

委                  員

委                  員

こ ども 部 長